



青海湖

青海省は、中国西北部に位置する人口約 580 万人の都市です。省内には、漢族の他に、チベット族、回族、モンゴル族など 54 の少数民族が生活しています。その省名の由来となったのが、中国最大の塩水湖である青海湖。面積は約 4,560km² と、琵琶湖の約 6 倍もの広さを誇ります。夏には湖岸に菜の花がじゅうたんのようになり、国内外から多くの観光客が訪れます。



世界の地域から

写真提供：青海省外事弁公室国際交流処

チベットの玄関口 (中国・青海省)



写真提供：青海省外事弁公室国際交流処

タール寺 (クンブム)

青海省には数多くのチベット仏教寺院が存在します。その代表的な寺院であるタール寺 (クンブム) は、中国の重要文化財に指定されており、寺院内には貴重な仏像や文物が多く収蔵されています。すでに 600 年以上の歴史を持つこの寺院は、厳密な設計によって独特な風格を漂わせており、漢族とチベット族の技術をともに活用した広大な建築群となっています。